



鹿児島市立 広木小学校PTA 電話 099-264-7244

編集/PTA広報部 児童数 531名 P 戸数 409戸 発行責任者/山口 博隆 職員数 36名 平成24年3月1日現在

広木小のキャッチフレーズ

明るいあいさつ 元気な歌声 花いっぱい広木小

URL http://keinet.com/hirokis/index.htm



仲間を信じて、勝利へジャンプ! クラスみんなで頑張った全校長縄大会 2月24日

いつだって 完全燃焼!!

仲間とひとつになるために、みんなで刻んだ「全力」「完全燃焼」の文字たち。目標にむかって全力を出しきるための合言葉だ。



優勝した5年3組の子どもたち。おめでとう!!

田中先生の部屋

今年度、4面でご紹介しているコーナー。最終回の今号では大会のベストショットをお届けします。

子どもたちの一生懸命で真剣な表情がよくわかります。一喜一憂している様子は感動を与えてくれますね。



大会にも挑戦したよ。

極寒の今年の冬でしたが、そんな寒さほどこへやら。広木つ子たちは毎日元気いっぱい練習に励んでいたそう。そしてよいよよ本番。なかでも高学年の子どもたちは奮闘した様子。陣を組むクラスもあり、熱気が伝わってきました。そして、一生懸命取り組んだその姿にただただ感動し、悔し涙を見せる女の子たちにも笑顔で頑張る低学年の子どもたちにも一喜一憂しました。東日本大震災をきっかけに、「絆」という言葉が注目されました。広木つ子たちも1年間一緒に学んだクラスメートたちとの深い「絆」ができたのではないのでしょうか。

やぶつばきの つぶやき 24

今度の小学校も同じだろうか。サッカーはまわりの友だちとぶつかったりガラスを割ってしまったら、叩き壊すからやめた方がいいとか、叩き壊す必要のないものを学校に持ってきたらいけなからできないとか、何かが起こる前に禁止になっているのではないだろうか。こうして子どもたちの安全を守っているのだと思う。

何かと忙しく、ゆっくり遊ぶ時間や場所がない最近の小学生。力強く生きてほしい。

「どうやってやるの?!」 不思議そうな顔がいっぱい



1年生 昔あそび交流会 1月24日

たのしかったわかしあそびこりゆうかい 1年2組 宮下 彩羽 さいしよに、めんこをしました。うまくできてよかったです。

おじいさん、おばあさんたちといる遊びを試行錯誤しながら楽しんだ様子が伝わってきますね。交流会がこれからもずっと続き、なつかしい遊びが子どもたちへ受け継がれることを願っています。



子どもたちの右手には「絆」。左手には「繋ぐ(つなぐ)」。真剣なまなざしをした子どもたちがコートに整列したあと、試合開始の瞬間まで全員で手をつないでいます。はじめが光景です。試合でも一人一人が決してあきらめることなく、最後までボールを追いかける姿がそこにはあり、あまりに一生懸命なプレーにただただ感動。決勝戦は決して楽な試合展開ではありませんでしたが、子どもたちの「絆」で「繋ぐ」という心意気で見事勝利することができました。

勝利のうれしい報告が届きました!!

「かたい絆」が導いた勝利 最後の公式戦。1月21日

子どもたちの一生懸命なプレーは、育成会もみんな気持ちは一掃。子どもたちの勝てない理由は一心。気持ち。そのことも監督もコーチも育成会のお父さんお母さんも、みんな子どもたちにつけました。はたして、かわってけるのか。

育成会もみんな気持ちは一掃。子どもたちの勝てない理由は一心。気持ち。そのことも監督もコーチも育成会のお父さんお母さん、みんな子どもたちにつけました。はたして、かわってけるのか。

ご提案!!

①金曜日は早く寝る 平日の疲れは、月曜日に持ち越さないのではなく、土曜日に持ち越さないようにしましょう。毎日休みの無い主婦は実行するのは難しいですが、シャワーではなくお風呂にゆっくり浸かり出るだけ早く寝ることを心がけましょう。

②土曜日の過ごし方 ダラダラ過ごして、貴重な休みを無駄にしないようにしましょう。朝ご飯もゆっくり食べ、その日一日を疲れにくい体で過ごします。午前中に家事は済ませ、午後は出かける。すると、おのずと早く眠気がくるので夜は早く寝ることが出来ます。

③土曜日の過ごし方 土曜日と同じく早起きをし、午後は体をあまり動かさず、家でDVD鑑賞といった家族団楽で楽しめることをしましょう。そして、早めに就寝しましょう。

これはあくまでも理想の実行法です。やはり習い事をしていたり、時間に余裕が無く過ごしている方も多くのが現実です。しかし、親自身が少しでも実行できるような生活リズムをつかめたら、土日の子ども達の生活リズムも自然と良くなっていくのではないのでしょうか。親として、子どもたちの健康のためにひとつの課題となりそうです。

起床時間を守れた

毎日	19.6%
6日間	14.5%
5日間	27.7%
4日間	17.3%
3日間	11.4%

起床時間の設定は、6:30~6:59が65.2%で最も多い。(2学期は66.0%)やけり、土日に起きられない場合が多い。しかし、平日はしっかり早起きしている児童が多く「エライ!!」保護者の方も「素晴らしい!!」です。

就寝時間を守れた

毎日	7.1%
6日間	13.2%
5日間	10.8%
4日間	10.6%
3日間	8.1%
2日間	10.6%
1日間	20.2%

93.1%が朝食を食べている。(2学期は95.1%) バランスはなかなか難しく、パンだけに頼りがちだったり、どうしても簡単に済ませてしまう。バランス良く食べることが課題ですね。

ほっと一息ついて 考えてみよう

Vol.2

全ご家庭から協力いただきました。生活リズム点検。皆さんは覚えていらっしゃいますか? 親としては、毎日リズムよく生活できることが一番ですが、各家庭のライフスタイルによって、なかなかうまくいかないこともあるかと思えます。しかし、そんな中でも朝、決まった時間にしっかりと起きて朝ご飯もしっかり食べている子ども達が多いことが分かりました。

ただ、どうしても土日は実行できないという子どもも多いようで、確かに土日は休みという感覚からか、ゆとりをほしい、寝かせてあげたいという気持ちが出てしまっています。家庭の状況で休みの使い方は様々です。

夢を堂々と語る姿に感動

4年生が迎えた半成人式。参列した方々はわが子をしつかりと見つめて、感動の様子でした。「すごくたくましくなってきたと思います。これから皆さんの壁があるけれど、きっと自分の力で乗り越えられるのだ」と話してお母さんも、一つの節目を迎えた子どもたち。これからは、これからは、たたく見守っていきたいですね。

無事発行することができ、感謝です。今年度は「命を守る」というテーマに取り組んでいましたが、きっかけはやはり大震災でした。8・6水害などで災害を体験している鹿児島でも、映像で伝えられる様子に心痛める人も多かったと思います。改めて、命の大切さを子どもたちにも伝えていきたいものですね。

さて、今年度最後の「ひろき」です。毎回、反響も大きく、熱心に読んでいただき大変感謝しています。この流れを大切に、来年度にむけていい引き継ぎができればと思います。ありがとうございました。 広報部

はやくおいでね! 新一年生入学説明会 2月14日(火)

体育館では少し大きくなった1年生が新1年生のお世話を得意そうな笑顔で頑張っていました。一緒に歌を歌ったり、ビデオを見たりしました。不安そうだった新一年生も、最後には安心した笑顔になりました。おめでとうございました。

新一年生のお母さんは「広い校庭で遊ぶのをすごく楽しみにしているみたいです。健康で休まず登校してくれら。」と話してくれました。はやく広木小においでね。みんなで待ってるよ!

広木小の子どもたちへ

6年P 前田 浩二さん アビスパ福岡監督就任!!

子どもたちへ熱いエールを送っていただきました。

「この度、Jリーグアビスパ福岡の監督になりました。この2月で43歳になりましたが、いつも夢を追い続け、高い目標に挑戦しています。そして今回も監督になるという夢の一つが叶いました。ありがとうございます。」

最近ではオリンピック予選も激しい日本サッカー界ですが、その最高峰であるJリーグのクラブ監督という厳しい世界で活躍されている前田さん。子どもたちへのエールは、とても温かく、そして説得力のあるものです。今後の活躍、期待しています。ありがとうございました!

© awispa fukuoka

卒業おめでとう ～君たちへエールを～



6年1組 宇井 知隆先生
夢を形にするために、ちよっとしたときに夢を意識することで、夢は近づきます。その夢を思い続けることで、夢は現実になります。しかしその前に、まずは果たすべき責任や義務をしっかりと果たす。そんなことの繰り返しで夢をたくり寄せます。

卒業おめでとう。この一年間で教えたことは、将来に花開くための教えます。いつか思い出してほしい。

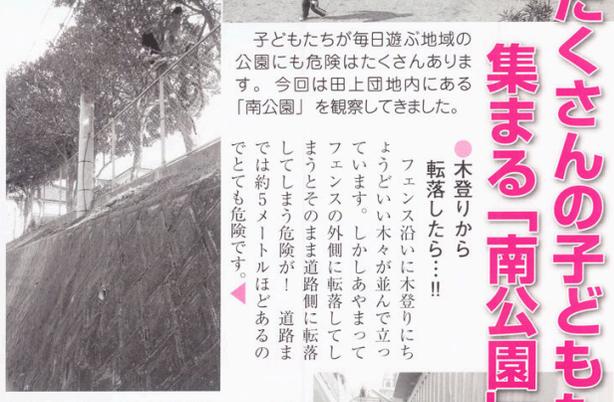


6年2組 林 友美先生
卒業が近づきました。歌の練習をしました。卒業文集を書いたり、卒業への準備をする中で卒業への思いが高まってきました。この一年、叱つたことも多かったはずなのに、なぜか楽しかったことだけが思い出されます。

なんといっても長縄大会、あきなを信じることを学びました。あなたたちの持つ優いさ、素直さ、底力をいつまでも持ち続け、今後も邁進してください。



6年3組 植野 正俊先生
「記録より記憶」に残る31名で。イベントの先頭に立ち、盛り上げてくれた31名はとっても輝いていました。準備することの大切さ、記録や勝利することの困難さ等、共に学び合うことができたのが大きな宝だと思ふ。笑いあり、涙あり、怒りあり、悲しみあり、人としての感情もたくさん出てくれました。その上で相手を知り、認め合うことが出来たのだと思う。一年間ありがとう。



元気な声が響く公園にも数々の危険箇所が…

たくさんの子もたちが集まる「南公園」(田上台4丁目)を緊急取材!!

子どもたちが毎日遊ぶ地域の公園にも危険はたくさんあります。今回は田上台4丁目にある「南公園」を観察してきました。

●木登りから転落したら…!!
フェンス沿いに木登りしようといふ木々が並んで立っています。しかしあやまってフェンスの外側に転落してしまつて危険です。道路まで約5メートルほどあるのとでも危険です。

●倉庫の後ろの死角では…
広場の中心で元気に遊ぶ子どもたち。しかし一転、倉庫や公民館の裏側に回るとひっそりとした空間。そこは周りからは見えないうちに危険が潜んでいます。野良ネコを追い回して遊ぶ子どもたちがそのままその死角へ入ってしまう危険があります。

●ふざけて手すりを乗り越えたら…
公園への上からの入り口は長い階段になっています。階段には手すりがありますが、ふざけて乗り越える子どももいます。ふざけて足を踏み外すと落下する危険があります。

特集 子どもの命を守る

～今、私たちができることは～

今年度広報紙「ひろき」では年間を通して「子どもの命を守る」とのテーマを掲げました。3学期号の号では身の回りにおける危険、特に不審者へ対する対応や公園・広場に潜む危険をいくつか挙げ、1学期号からの総括としたいと思います。

通学路に潜む危険箇所

前回の2学期号ではアンケート調査結果から、通学路における交通安全の部分を中心に取り上げてご紹介しましたが、今回は紹介しきれなかった危険箇所を紹介し、共有できたらと思います。

- 「広木トンネル」は人気がなく、昼間も薄暗く危険だと思ふ。(大牧トンネルも同様)
- 通学路に古い家があり子どもたちが入らないう心配。
- 放し飼いの犬がいてかみつられることがある。
- 田上台3丁目奥の方の通学路、柵を乗り越えると崖になっていて危険。ふざけて乗り越えると草むらになってとても危険。などなど

子どもたちを元気に見送って！

～スクールガード 中村さんに聞く～
朝早くから、子どもたちの登校を交通安全からサポートしていただいているスクールガードの方たち。今回はそんなスクールガードの一人、生協コープ前交差点にいらつしやる中村さんに現状をお聞きしました。

広木方面から田上台方面へ、かまりのスピードで駆け抜けていく通学路の危険箇所。中村さん「赤信号でもびっぴつと無視して走つていく車もあって非常に危険なんです」と中村さん「子どもたちも横断歩道の手前で止まらず、駆け抜けていくことがあります。一度安全確認するように指導してあります」と、横断歩道上での安全をかなり注意して指導されているそう。しかし中村さんによれば、朝、ご家庭で、しかし送り出しと向き合つて元気に声かけして送る子どもさんが増えてきているそうです。親御さんの中には「私たちが親としてやっていってらっしゃあ」と元気に声かけて、子どもたちの心を落ち着かせることが大事なのかもしれない。

「イカのおすし」をもう一度徹底させよう!!

「イカのおすし」をもう一度徹底させよう!!
昨今、不審者情報のお知らせが続いています。学校から持ち帰るお知らせのプリントや、最近では登録制によるネット配信、ツイッターなどでも近くの不審者情報を知らせることができるとされています。情報を見るたびにドキッとさせられますよね。そして「またかっ!!」と心配になります。幸いなことに、広木小校区内における重大な被害は起きていませんが、不審者が私たちの近くをうろついていることは間違いありません。特に低学年の保護者にとってはとても心配なことだと思います。今回の号では、広木小から学校より指導されている「イカのおすし」をもう一度子どもたちと確認するとともに、身の回りの危険に対する対応を家族で考える機会にしたいと思っています。

「イカのおすし」を再確認

「イカのおすし」を再確認
いかな いと知らない人についていかない
の 乗らない し知らない人の車に乗らない
の おおごえ 大声でさけぶ 「助けて!」と大きな声を出す
す すぐにげる こわかったら大人のいる方にすぐしげる
し 知らせる ひとなに いえひとし 知らない人から話をしたか家の人に知らせる

【最近の不審者情報】

- ◆日時 平成24年1月30日(月)16:30頃
 - ◆場所 スカイヒルズ、自宅近くの路上(田上台3丁目)
 - ◆不審者の特徴 ニット帽子、サングラス、マスク、黒っぽい服を着た男性、手に60cmぐらいの棒のようなものを持っていた。
 - ◆内容 小学生男子が、習い事に行く途中、自宅近くで不審者と遭遇し、「○○すると殺すぞ。」と言われ、怖くなって帰宅した事案。本人が祖母に話をし、祖母が警察と学校へ連絡した。
- 最新の情報は、今学期、3件の不審者情報が寄せられています。

身の回りに潜む危険から子どもたちを守ろう

3回の特集を通して、子どもたちのまわりには危険がたくさんあることを再確認できたのではないのでしょうか。あまりに気にしすぎず行動が狭くなるのは問題ですが、危険があることを十分に認識して行動することは大切ですね。災害時、登下校時、そして子どもたちが楽しく遊ぶ時間を準備し、余裕ある行動をしましょう。

最後に、子どもたちの命を守るには家族や地域の人たちの力がとても必要です。わが子だけではなく、近所の子もまた地域の心配りも持ちたいものです。地域の人の協力も頂きたいので、みんなで広木小の溢れる笑顔を守っていきましょう。



手づくり餅で卒業を祝う

「おやじの会から卒業生へ贈る」(紅白もち作り)
6年生の親子レクで行った今回のイベント。前日の米のつけ置きから始まり、当日の朝八時に米の炊き上がりも保護者や先生方と一緒に薪で火をおこすところから蒸す、つく、丸めるといった流れを体験することができました。つまみ食いしながらの笑顔が見られました。お母さん方に作っていただいた豚汁とおにぎりも思い入れが深いです。お手伝いをいただいたおやじの会OBをはじめ、先生方、保護者の皆様、もち米を準備していただいた方々へこの場をおかりとうございました。卒業生への記念を子どもたちのおやじの会にも作られた喜びを、これから6年生のみなさん卒業おめでとう。

研修部

企画した教育講演会。熱心に話に聞き入る参加者たち。
研修部長 内田 ひとみ
主な活動内容は、メール講座、カートリッジの集計、教育講演会、青少年育成大会への参加でした。集計作業では、児童数が減つたり、古いカートリッジが回収されたりしないなど
日曜に開催したり、子どもたちと一緒に聞いたり、学校からの協力もいただきながら検討できればと思います。一年間、みなさまの協力により無事に研修部の活動を終えることができました。ありがとうございました。

保体部

生活指導部長 杉野 尚子
昨年の4月にカエルマークの当たりくじを引いてからもうすぐ一年です。初めての専門部長で右も左もわからないままでしたが、副部長さんと各クラスの委員の方々の助言で無事過ごせることができました。ありがとうございました。

保体部長 益富 久美
子どもが「嫌だ、嫌だ」と、だだをこねるのようになりました。だだをこねるのを止めるために、大保体部長でした。なぜなら、仕事をしながら部長を務める自信が私には、まだまだなかったからです。でも子どもがこんな立場の時、母親として何とどうか。「何もしていないのに、始めからできない、嫌だと言わない」と、常日頃言っている自分がありました。そんな自分が少し恥ずかしくも思いました。とりあえずやってみよう、やれる範囲で協力しよう。そんな思いで、一年間みなさんの協力を得ながら、無事役目を終えることができました。反省するところは多々ありますが、自分なりにやっつけたいと思っています。私には、まだまだ年中の子どもの機会があれば前向きに頑張りたいと思います。

専門部だより

生活指導部長 杉野 尚子
軽快なリズムに、乗って楽しんだ、最後の2年生授業参観。各クラス決まったパートを弾き、合同演奏を披露してくれました。

生活指導部長 杉野 尚子
音楽室で行われた3クラス合同で音楽の授業参観。最後という日もあってか、お父様、お母様の出席も多く、音楽室は熱気に包まれていました。授業では軽快なリズムの「会えてよかった」という曲を披露してくれました。子ども達はもちろん、葛藤先生も一緒にリズムに乗って、軽やかなステップで楽しんでくれました。小学校に入学して2年が過ぎ、子ども達の授業態度にも成長が見られたように思います。4月には3年生です。勉強も難しくなっています。on the wayの切り替えがしっかりとできるような成長を期待したいと思います。

生活指導部長 杉野 尚子
朝のあいさつ運動、下校指導、バザーの駐車場係、合同補導と直接子どもたちと触れ合える貴重な機会に参加し、他の学校の方、地域の方との交流もでき勉強になる一年でした。私たちの安全のために動いてくださっている方々がいることを知り、感謝です。部長としての役目は終了ですが、今後とも子どもたちのために身近なところから動きたいと思ふます。

生活指導部長 杉野 尚子
最後に生活指導部の活動に参加、ご協力いただいたみなさま、どうもありがとうございました。